（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	朝日村情報小辞典事業
事業主体 （連絡先）	朝日村 （朝日村教育委員会教育政策課　電話 0263-99-4105　担当者：丸山真由美）
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業　ア　観光
事業タイプ	ソフト
総事業費	８０７，６００円（うち支援金：６２８，０００円）

事 業 内 容

１．知られざるローカル情報や朝日村の工房作家紹介を満載した『新録　朝日村小辞典』を 5,000 部作成し、各戸配布ほか村内施設に設置した。
２．「朝日村つくりびと展」を開催し、『新録　朝日村小辞典』で紹介した工房作家の作品を展示するとともに、ギャラリートークやワークショップを行った。
３．観光協会や塩尻・山形・朝日サイクルツーリズムと連携し、観光客への朝日村のローカル情報提供に役立てた。
４．朝日村のサイクルツーリズム窓口である観光協会と今年度事業の報告会を実施した。

【4/15 ギャラリートーク】

【目標・ねらい】

① 地元の観光スポットを紹介し、村民の村への愛着を深める。
② 情報提供で村外者の関心を高め、観光客増加につなげる。

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①『新録　朝日村小辞典』では普段見過ごしている地元の魅力的な情報スポットを紹介しているので、これまで訪れることのなかった場所を見てきたとか、今度行ってみたいという村民の声が多く届いた。この冊子の設置を希望する村外の宿泊施設からの連絡もあり、魅力が伝わったことを実感できた。
②冊子に掲載した朝日村で活動している作家たちの作品を紹介した展覧会には村内外から来館者があり、会場となった朝日美術館に自転車で訪れる姿もたびたび見られた。

※自己評価【　B　】

【理由】『新録　朝日村小辞典』に掲載した作家による「朝日村つくりびと展」には目標にしていた４割以上の村民が来館し、普段は村外者が８割近く占めるなか、地元からの関心を集められた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

『新録　朝日村小辞典』を参考に地元の観光スポットに出かけたり、新しいスポットを見つけたりする取り組みを地区の行事として取り入れることを分館に提案する。
塩尻・山形・朝日サイクルツーリズム事業は来年度も継続していくので、さらに多くの観光客が訪れるよう、『新録　朝日村小辞典』を活用しながら情報提供をしていく。
朝日村観光協会と連携しながら、村民と観光客の双方に村の魅力を情報発信していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある